

平成30年6月1日

ふじみ野市議会

議長 堀 口 修 一 様

青藍会

代表 大 築 守

青藍会視察研修報告書

ふじみ野市議会青藍会所属6名は、平成30年5月14日・15日・16日に宮崎県串間市において防災対策（14日）、宮崎県日南市油津商店街において商店街の再生（15日）、宮崎県都城市学力向上対策（16日）をテーマとする視察研修会を実施したので報告します。

1 出席議員

大築 守

小高 時男

小林 憲人

山田 敏夫

渡辺 大

加藤 恵一

2 視察研修先

(1) 串間市役所 宮崎県串間市大字西方 5550

平成 30 年 5 月 14 日(月)15:00～16:30

(2) 宮崎県日南市（油津 Yotten）宮崎県日南市岩崎 3-10-6

平成 30 年 5 月 15 日(火)10:00～14:30

(3) 都城市役所 宮崎県都城市姫城町 6 街区 21 号

平成 30 年 5 月 16 日(水) 9:30～11:00

3 視察の目的

(1) 防災対策について

昨年の台風第 21 号における被害など本市においても防災対策の更なる強化は、喫緊の課題である。災害対策の更なる向上に向けて、災害発生時の応援協定について、商店街や高校などとの協定の締結や防災士の資格取得の補助など先進的な取組を行っている串間市の事例を参考にすべく視察を実施した。

(2) 商店街の再生について

商店街における空き店舗対策については、本市においても空き店舗ゼロを目指して取組が行われている。3 年ほどでシャッター街であった商店街を活力ある商店街に再生し、市民と行政が一体となったまちづくりを進める日南市油津商店街の事例を参考にすべく視察を実施した。

(3) 学力向上対策について

未来のふじみ野市を担う子ども達を育成するため、児童生徒への学力向上に向けての取組は非常に重要であると考えます。そこで、小学校学力対策の取組、小中一貫学力向上事業、中学校教員業務支援事業など都城市の取組事例を参考にすべく視察を実施した。

4 視察研修の内容

<1> 串間市防災対策について

(1) 災害応援協定について

ア 商店街との応援協定の経緯について

大規模災害発生後、交通インフラなども被害が想定され、国が行うプッシュ型支援も遅延すると考えられる。串間市でも非常食及び飲料水の備蓄も進めているが、備蓄に限界があるため、市内の商店街及び企業と協定を締結し、保有する物資を提供して頂き支援物資が届くための物資確保を行うことを目的にしている。特徴として、物資やインフラ生活環境などの項目別に分け企業・団体の業種及び専門分野に分け個別に協定を締結している。平成 18 年度から現在まで 31 の企業・団体と締結を結んでいる。

(2) 防災士資格取得制度について

ア 補助制度のきっかけについて

災害時における地域の防災リーダーや人命救助・避難所での人的支援に期待される防災士の数が少なく、地域の防災力向上のため補助制度を導入している。

イ 財源の確保について

防災士養成講習研修は、受験料として 3,000 円、認定登録料とし

て5,000円が必要となる。このうちの認定登録料を地域の防災リーダーとして活動する要件を満たす者に補助している。財源は、自主財源で対応している。

(3) 高等学校との協定について

ア 協定のきっかけについて

福島高校の体育館が避難所として指定されており、災害時の避難所として協議したことにより協定を締結した。

イ 高校と協定を結ぶことについての効果は

防災教育を市と連携して取り組んでいる。その中で様々な職種や専門の方を講師にお招きし、より専門的な知識を学ぶことにより地域に貢献できる人材の育成につなげている。

串間市防災対策の所感

南海トラフ地震を想定した津波の浸水想定や台風などの襲来も多く、過去に広範囲において住宅地などの浸水被害も多く発生した歴史的な経緯から防災に対する意識が強く感じられた。

本市においても台風による浸水被害が発生し、防災対策の更なる強化に向けて商店街などの協定などによる連携の強化や地域で活躍す

る防災リーダーの育成、地域を担う学生に防災教育を行うことで人材育成に繋げていく試みなど実り多き研修となった。想定にとらわれず、地域ぐるみで更なる防災の意識を高められる取組を本市においても進めて参りたい。

<2> 日南市商店街再生について

(1) 油津商店街の取組

ア 背景

宮崎県南地区最大の商店街であった油津商店街は、空き店舗や空き地の増加、歩行者の通行量の減少、売り上げの減少などの衰退が見られ、また隣接市などの買い物客流出による厳しい環境であった。そこで日南市では、日南市中心市街地活性化計画に基づき商店街の再生、市の商業活性化に取り組んだ。

イ 取組の内容

商店街の再生に取り組むテナントミックスマネージャーやマーケティング専門官、まちなみ再生コーディネーターなど3名の民間人を公募し登用した。

商店街再生に向けて登用したテナントミックスマネージャーに4年で20店舗の誘致をノルマに課して再生への取組を始めた。

主な取組

- ・株式会社 油津応援団の設立
- ・設立の目的 商店街の再生に継続性をもたせる。
- ・喫茶店をリノベーションし、「ABURATSU COFFEE」を開店
- ・商店街にあった豆腐店を移転し、販売だけでなく豆腐を使ったランチを提供できるお店にリニューアル
- ・14の団体や企業が参加する「土曜夜市」の開催
- ・多世代型交流モール「Yotten」を開業
- ・情報サービス関連企業の誘致
- ・子育て支援センター、小規模保育施設の開設等

(2) 取組の成果

「Yotten」や「ABURATSU COFFEE」などを拠点に「土曜夜市」や商店街を活用したイベントなどを通じて市民が商店街に足を運ぶきっかけづくりを行うことで賑わいを取り戻し、その後若者がチャレンジしやすいまちというブランディングが企業を呼び込み、IT企業の誘致につながった。4年目で、新規29店舗の誘致に成功し、商店街の通行量は、約3倍に増加した。

日南市油津商店街再生の取組についての所感

住民と商店が商店街を通じて人と人がつながる仕組みづくりを考え実施することにより、主体的に商店街に関わる人が増え人を呼び込み商店街の賑わいにつながっていると感じた。持続可能な商店街づくりのためには、商店街を通じて人と人が交わる環境づくりが、大事であると感じる。商店街を通じて人と人が交わる場、そして、若い人材を育成していける場に繋がれば自ずと良い循環が生み出される。商店街の活性化を通じて、行政と商店街、商店街と市民が一体となり、魅力あるまちづくりに取り組んで参りたい。

<3> 都城市学力向上に向けて

(1) 小学校学力向上対策事業

ア 事業目的

学習のつまずきの早期発見・早期解消、確かな学びにつなげる習熟の徹底

イ 現状分析 全国学力テストの分析、県の学力学習状況調

ウ 課題 上位層と下位層に二極化、算数に力を入れる必要がある。

エ 事業の内容

小学校 3、4 年生の算数の習熟度別指導を実施し、下位層の学力の底上げを図る。1 学級 31 人以上いる学校に非常勤講師を配置、また、研修会を実施し非常勤講師の指導力の向上を図る。

(2) 小中一貫学力向上指定研究事業

ア 目的

学力向上を図るため、中学校区の小・中学校の全教職員が学力の実態を分析し、義務教育 9 カ年を見通した主体的な授業改善及び学力研究を推進する。

イ 指定研究学校の指定

6 中学校区の小・中学校を学校や地域の実態等を考慮して市教育委員会が指定

ウ 指定期間

平成 30 年度の 1 年間

エ 研究推進の重点事項

指定中学校区にコアティーチャーを 1 名選定する。コアティーチャーは、学力向上担当者と連携し、中学校区内の授業改善及び学力向上を推進する。教育委員会は、コアティーチャーを先進地である三鷹市へ派遣し、視察研修で得た内容を還元する。指定研究学校は、

中学校区内での合同研究を年2回実施する。

また、コアティーチャー及び学力向上担当者は、研究推進のための協議会を年5回実施する。教育委員会は、授業改善及び学力向上に関する消耗品代を学校規模に応じて配当する。研究計画及び研究組織の編成に当たっては、学校の規模及び重点等を考慮し、効率的な研究が進められるようにした。

(3) 中学校教員業務支援事業

ア 事業内容と効果

内容 学年主任や担任の業務の一部を支援員が代行

効果 個別指導や補充指導など生徒に向き合う時間の確保を図ることができる。

都城市学力向上に向けた取組についての所感

小学校学力向上に対する取組については、現状を分析し学力に応じた習熟度別指導を行うことで学力の底上げを図るなどとても参考になった。

小中一貫学力向上研究に関しては、9カ年を見通し授業の改善に向け、指導の核となるコアティーチャーを選定し各学校の学力向上担

当者と連携し情報共有を図ることで小・中一体となった授業の改善、向上に繋げる取組は、とても良い取組であると感じた。

また、授業改善に関わる消耗品を教育委員会で提供するなどの物心両面で支える取組も評価できる。そして、多忙な教員の負担を軽減することで先生と生徒が向き合える時間を確保した。中学校教員支援事業などもとても良い取組であると感じた。未来を担う子どもたちの学力向上に向けた取組や小・中学校の全職員が義務教育 9 カ年を見通して授業改善や学力向上に繋げる取組、また、多忙な先生の負担を軽減し、効果的な指導にあてる取組など参考になる取組が数多く、実り多き研修となった。好事例を参考に本市においても生かせる取組を行って参りたい。